

座談会 × 4市概況

いちかわ 市川市

東京都に隣接し、都心から 20 km 圏内にある市川市。首都圏有数の労働供給地である一方、200 年以上の歴史を持つといわれる「市川の梨」や、かつて製塩業と成田詣の中継地として名を馳せた行徳の海苔養殖など、都市近郊農漁業の街としての顔も持つ。

また、自然が多く閑静な街として、古くから多くの文人墨客に愛され、近年では日本画の巨匠・東山魁夷ひがしやま かいいがその半生の居を構えていた。

●人口 / 471,955 人 ●高齢化率 / 17.0% ●民生委員数 / 定数 462 名、実数 457 名 ●委員担当世帯数 / 平均 545 世帯 (最大 1,280、最小 102) ●市民児協事務局 / 社協 ●地区民児協 / 18 地区 (独自の区域) ●地区社協 / 14 地区 (町会・自治会区域)

そうさ 匝瑳市

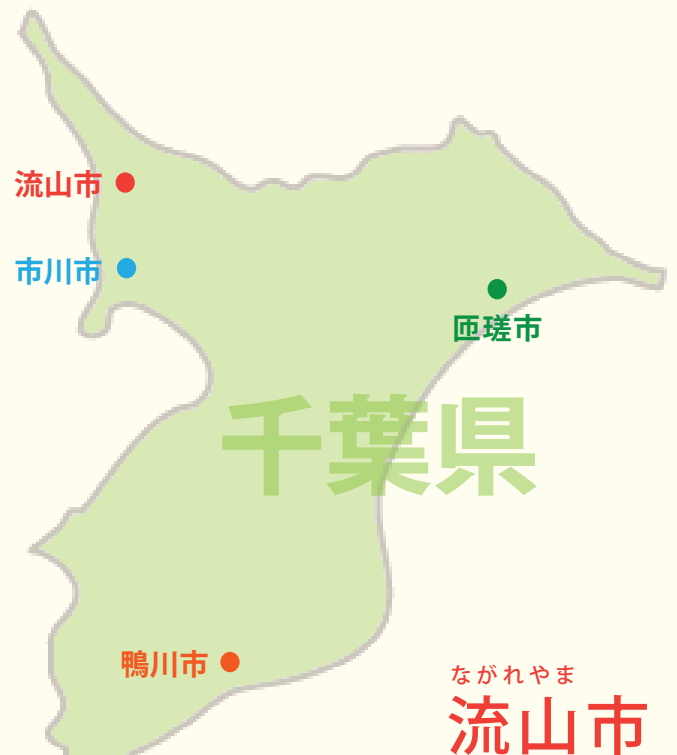
平成 18 年、旧八日市場市と旧野栄町のさかが合併して誕生した「匝瑳市」。日本有数の栽培面積を誇る「植木の街」、また市内各所に 200 本以上もの巨木 (※1) が残る「巨木・巨樹の街」として知られている。

また、難読・誤読地名番付 (※2) では、西の横綱・兵庫県宍粟市と並んで、東の横綱にその名が挙げられている。その他、国の重要文化財に指定される飯高寺はんこうの総門・講堂などの文化遺産や、農産物では県内で唯一匝瑳市のみで生産されるという赤ピーマンなどの特産品がある。

●人口 / 39,813 人 ●高齢化率 / 26.5% ●高齢者世帯 / 7,574 世帯 ●民生委員数 / 定数 87 名、実数 86 名 ●委員担当世帯数 / 平均 144 世帯 (最大 492、最小 65) ●市民児協事務局 / 行政 ●地区民児協 / 6 地区 (行政区) ●地区社協 / 11 地区 (小学校区域)

(※1) 市 HP 上の定義では、巨樹・巨木は地上 1.3m の高さで幹周り 3 m 以上の樹木

(※2) 竹内正浩「日本の珍地名」(文春新書)



東京・秋葉原駅と茨城・つくば駅を結ぶ「つくばエクスプレス」の開通 (平成 17 年) に伴い、沿線の開発が進む流山市。都心までの通勤の利便性と自然が多く残る住環境の良さから、若い世代を中心に年々人口が増加している。

江戸川・利根運河という 2 つの水運に恵まれたこの地は、かつて江戸の物産集積地として栄え、また新撰組局長・近藤勇、俳人・小林一茶所縁の地としても知られる。

●人口 / 164,879 人 ●高齢化率 / 20.7% ●民生委員数 / 定数 163 名、実数 154 名 ●委員担当世帯数 / 平均 400 世帯 (最大 850、最小 40) ●市民児協事務局 / 社協 ●地区民児協 / 8 地区 (中学校区域) ●地区社協 / 15 地区 (小学校区域)

かもがわ 鴨川市

平成 17 年、旧天津小湊町と合併し、県内有数の観光の街である鴨川市。市内には、棚田百選に選ばれた長狭地区の大山千枚田や、源頼朝公所縁の仁右衛門島、日蓮聖人所縁せいちようの清澄寺や鯛の浦など、自然と文化に触れ合える街として、年間通して多くの観光客が全国から訪れる。また、その温暖な気候から花卉栽培が盛んな他、地場産の山海の珍味をふんだんに盛り合わせた「おらが丼」は市内約 50 店舗で食べることができる。

●人口 / 36,328 人 ●高齢化率 / 31.3% ●高齢者世帯 / 4,317 世帯 ●民生委員数 / 定数・実数 78 名 ●市民児協事務局 / 行政 ●地区民児協 / 4 地区 (中学校区域) ●地区社協 / 12 地区 (小学校区域)